

カジュアルにがんを語る

# 「YuRy's Bar」



伊藤  
ゆり 大阪医科薬科大学 / JACR 理事



がんをはじめ生きづらさを  
「嗜む」社会実験 Cafe & Bar



毎月第4土曜はデータサイエンス  
で考えるウェルビーイングを着に

私の引退後の夢は禁煙スナックのママになることです。その準備として、月に一度、バーのマスターをする機会をいただいています。会社員であり、GISTのサバイバーであり、国のがん対策推進協議会の委員でもある谷島雄一郎さんは、「ダカラコソ・クリエイト」という活動を通してがん経験者だからこそできる発信と場づくりを行っています。その活動の場の一つである「カラクリLab.」は大阪・梅田の堂山の一角にあり、10人も入ればいっぱいになる小さなバーです。谷島さんが週に一度、オープンしていて、がんの経験者をはじめ生きづらさを抱える人たちが集える場を提供しています。この素敵な「第三の場所」を週一回だけの営業だけではもったいないのではないかと思います。2023年7月から、月に一度「YuRy's Bar」の間借り店長としてお手伝いしています。主に第4土曜または日曜の夜に営業しています。

がんの経験者でも医療者でもない私に何ができるのかな、と思いましたが、データサイエンスに基づいたがんのお話であれば、少しはお役に立てるかと思ひ、「データサイエンスで考えるウェルビーイングを着に」と標榜し、バー営業を始めました。用心棒として、夫がDJとして付き合ってくれています。これまでに越しいただいた

お客様は、患者会活動をするがんサバイバーの方、前職場で一緒にマラソンを走った患者さん・職員のサークルメンバー、大学の同僚の先生方や他大学の共同研究者、X(旧Twitter)を見てきてくれた製薬企業の方、治療中の患者さん、がんで大切な方を亡くした友人、近所の飲食店の大将、ケムラン(禁煙の飲食店応援サイト)でお世話になったお店の方々、などなど多様な方々にお越しいただいています。特に意識してがんの話をするわけではないですが、自然とがんにまつわる経験談をお客様同士でお話されたりすることもあれば、全然関係ない内容で盛り上がりしています。

今後は、バー営業前にテーマを決めてちょっとしたミニトークをした後に、そのテーマについて語り合えるといいな、と思っていますが、今のように、ゆるゆると他愛のないお話をできる場所であるのもいいな、とも思っています。そのようなスタイルの営業ですが、もし、お近くにお越しの際、スケジュールが合うようでしたら、お越しいただけますと幸いです。小さな店ですので、事前にご予約いただけますと幸いです。営業の予定はXアカウントまたはFacebookグループでご案内しますので、フォローしていただけると嬉しいです。

## YuRy's Bar

カラクリLab. 〒530-0027  
大阪府大阪市北区堂山町 16-19 イワタ会館 2F

Facebook: <https://www.facebook.com/groups/657591556312524/>  
X(Twitter): @Yuri\_Q\_Ito [https://x.com/yuri\\_q\\_ito](https://x.com/yuri_q_ito)

ダカラコソ・  
クリエイト



カラクリLab.



YuRy's Bar



ケムラン



X(Twitter)

